

外部評価軽減要件確認票

| | |
|-------|-------------|
| 事業所番号 | 2391000045 |
| 事業所名 | グループホーム はるた |

【重点項目への取組状況】

| | | |
|-------|---|-------------------|
| 重点項目① | 事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） ハーブや三味線の演奏や歌手が来訪の折には、呼びかけに応じて近所の人も聴きに来る。地域から頂いたベンチをホームの玄関に置き、利用者の寛ぎの場所としている。隣の家では、利用者の居室から眺められるようにと、花を良く見えるように飾ってくれる。地域との交流・連携が図られており、関係は良好である。 | 評価 ○ |
| 重点項目② | 運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 年6回の運営推進会議には、近隣住民、有識者、民生委員、区役所職員、家族等が出席し、現状報告や活動報告に加え、認知症への理解を深めてもらえるよう情報発信を行っている。会議参加者にホームでのイベントを利用者と一緒に楽しんでもらい、ホームでの生活の様子が伝わるよう努めている。 | 評価 ○ |
| 重点項目③ | 市町村との連携（外部評価項目：4） 管理者は認知症介護の専門部会の役員を長年しており、福祉課の職員が相談に来ることもある程、認知症介護について精通している。また、いきいき支援センター主催の研修や市主催のケアマネ更新研修に講師として出向いている。 | 評価 ○ |
| 重点項目④ | 運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 家族の面会時や運営推進会議等で家族からの意見や要望を聞き取り、「利用者第一」に考え、質の高い支援を実践している。その積み重ねが家族からの信頼を生み、安心を得ている。「はるた通信」を定期的に発行し、写真付きで利用者の日々の様子を伝えている。 | 評価 ○ |
| 重点項目⑤ | その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。 | 評価 ○ ○ ○ |
| 総合評価 | | ○ |

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

| 外部評価項目 | 確認事項 |
|-----------------------|---|
| 2. 事業所と地域のつきあい | (例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。 |
| 3. 運営推進会議を活かした取組み | (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。 |
| 4. 市町村との連携 | (例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。 |
| 6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映 | (例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。 |

【過去の軽減要件確認状況】

| 実施年度 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 31年度 |
|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 総合評価 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ◎ | ○ | | | |